PARIS AND LA BELLE ÉPOQUE

THE CENTER OF AVANT-GARDE ARTISTS
With the Weisman & Michel Collection of Montmartre Artists

ベル・エポック
美しき時代

パリに集った芸術家たち
ワイズマン＆マイケル コレクションを中心に

2024
10.5 SAT. 〉12.15 SUN.

休 館 日｜水曜日(ただし12月11日は開館)
開館時間｜午前10時～午後6時(ご入館は午後5時30分まで)
＊11月1日(金)、22日(金)、29日(金)、12月6日(金)、13日(金)、14日(土)は夜間開館を実施いたします。
午後8時まで開館(ご入館は午後7時30分まで)
入 館 料｜一般 1,200円／65歳以上 1,100円／大学生・高校生 700円／中学生以下 無料
＊障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます。
主　催｜パナソニック汐留美術館、毎日新聞社
後　援｜在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ、港区教育委員会
協　力｜日本航空　　企画協力｜アートインプレッション

Closed | Wednesdays (Except for December 11)
Hours | 10 a.m. – 6 p.m. (Open until 8 p.m. on November 1, 22 and 29, December 6, 13 and 14)
Admittance until 30 minutes before closing time.

Admission fee | Adults ¥1,200 / Visitors aged 65 or over with valid documentation ¥1,100 / Students (High school and College) ¥700 Admission is free for children in middle school and younger. Admission is free for disability passbook holders and up to one accompanying adult.

会期中、一部展示替えします。＊展示替えの詳細は当館ウェブサイトにて10月5日以降お知らせします。
［前 期］10月5日(土)～11月12日(火)　［後 期］11月14日(木)～12月15日(日)
Exhibits shall be partly rotated after November 14. For the details of the rotation, please visit our website after October 5.

Panasonic Shiodome Museum of Art | ROUAULT GALLERY
パナソニック 汐留美術館

PARIS AND LA BELLE ÉPOQUE THE CENTER OF AVANT-GARDE ARTISTS

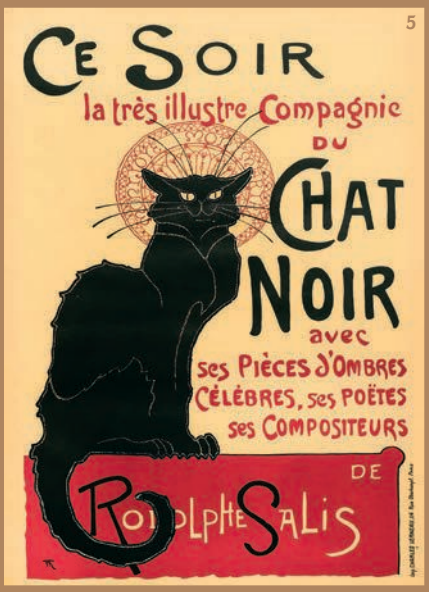
With the Weisman & Michel Collection of Montmartre Artists

1

2

3

4



5

夢、咲き誇る。

19世紀末から1914年頃までのパリが芸術的にもっとも華やいだ時代「ベル・エポック」。本展は、ベル・エポック期から1930年代に至る時代の美術、工芸、舞台、音楽、文学、モード、科学といったさまざまなジャンルで花開いた文化のありようを重層的に紹介するものです。

会場には、トゥールーズ=ロートレックやジュール・シェレによるポスター、当時のブルジョワたちが身にまとった衣服に装身具、エミール・ガレやルネ・ラリックの工芸作品に加えて、芸術家同士の交流がうかがえる書簡や稀覯本など、その頃のパリの繁栄や活気を鮮明に伝える、多様な分野の作品が並びます。とりわけ、展示の中核をになう、デイヴィッド・E.ワイズマン氏とジャクリーヌ・E.マイケル氏の絵画コレクションは、往時のモンマルトルの世相を色濃く反映した珠玉の作品群です。本邦初公開の同コレクションにもご注目ください。

Paris during the Belle Époque, the period from the late 19th century to roughly 1914, was characterized by a great flourishing of the arts. This exhibition presents a multifaceted look at the cultural movements that blossomed across all fields—fine arts, craft, theater, music, literature, fashion, and science and technology—from the Belle Époque to the 1930s. Paintings and graphic art from the Weisman & Michel Collection in France—displayed in Japan for the first time—along with paintings, craft works, clothing, and rare books from collections across Japan, provide a glimpse into the lives of the people of Paris during this vibrant period.

1 ピエール=オーギュスト・ルノワール《帽子を被った二人の少女》1890年頃 パナソニック ホールディングス株式会社蔵
Pierre-Auguste Renoir, *Two Girls with Hats*, c.1890, Panasonic Holdings Corporation

2 《こども服》1910年代 文化学園服飾博物館蔵
Kids' Clothes, 1910s, Bunka Gakuen Costume Museum

3 ジュール・シェレ《ムーラン・ルージュ》1889年 デイヴィッド・E.ワイズマン&ジャクリーヌ・E.マイケル蔵
Jules Chéret, *The Moulin Rouge*, 1889, The David E. Weisman & Jacqueline E. Michel Collection © Christopher Fay

4 《バックル》1900-1910年代 文化学園服飾博物館蔵
Buckle, 1900-1910s, Bunka Gakuen Costume Museum

5 テオフィル=アレクサンドル・スタンラン《シャ・ノワール》1896年 デイヴィッド・E.ワイズマン&ジャクリーヌ・E.マイケル蔵
Théophile-Alexandre Steinlen, *The Chat Noir*, 1896, The David E. Weisman & Jacqueline E. Michel Collection © Stéphane Pons

［表面作品］作品左上より時計回りに アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック《ブリュアンはモンマルトルに戻り『オ・バ・ダフ』を歌う》1893年 デイヴィッド・E.ワイズマン&ジャクリーヌ・E.マイケル蔵 © Stéphane Pons／ルネ・ラリック《ペンダント「白鳥」》1897-1899年頃 箱根ラリック美術館蔵／アルフォンス・ミュシャ《サラ・ベルナール》1896年 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市）蔵［展示期間：10/5〜11/12］／ジュール・シェレ《ムーラン・ルージュ》（部分）1889年 デイヴィッド・E.ワイズマン&ジャクリーヌ・E.マイケル蔵 © Christopher Fay／《アフタヌーン・ドレス》1870-1880年代 文化学園服飾博物館蔵／エミール・ガレ《ししうど文ランプ》1907-1914年頃 株式会社神谷美術館 Works on the reverse side, clockwise from top left. Henri de Toulouse-Lautrec, *Bruant returns to Montmartre* with the Song *Aux Bat d'Af (To the African Battalion)* ,1893, The David E. Weisman & Jacqueline E. Michel Collection / René Lalique, *Pendant, Swan*, c.1897-1899, Lalique Museum, Hakone / Alphonse Mucha, *Sarah Bernhardt*, 1896, Sakai Alphonse Mucha Museum, Sakai City / Jules Chéret, *The Moulin Rouge*（detail）, 1889, The David E. Weisman & Jacqueline E. Michel Collection / *Afternoon Dress*, 1870-1880s, Bunka Gakuen Costume Museum / Émile Gallé, *Lamp with Angelica Pubescens Design*, c.1907-1914, FINE ARTS KAMIYA CO., LTD.

関連イベント

講演会

講　師｜福冨幸氏（本展国内監修者：岡山県立美術館副管理者・学芸課長）
日　時｜2024年11月2日（土）午後2時〜3時30分（開場午後1時30分）
テーマ｜「映画を展覧会に ーベル・エポック展の舞台裏」
アニメーション映画「ディリリとパリの時間旅行」をきっかけに、展覧会がどのように形作られていったのかを、本展の見どころを交えながらお話しいただきます。
定　員｜150名（要予約）　会　場｜パナソニック東京汐留ビル5階ホール

［ご予約方法］ハローダイヤル 050-5541-8600へお電話にてお申込みください。
9月24日（火）より受付開始（受付時間午前9時〜午後8時）
必要事項 ❶イベント名 ❷参加人数（一度に2名までお申込みいただけます）❸氏名（要全参加希望者）❹住所 ❺電話番号
＊聴講は無料ですが本展の観覧券（半券）が必要です。＊ご予約の際は簡単なアンケートにご協力いただきます。＊当日は予約時にお知らせする整理番号を活用してご入場いただきます。＊お申込み時にいただいた個人情報は、本イベントの受講管理の目的でのみ使用し、参加希望者はこの目的での使用に同意したものとします。＊予約受付は先着順で、定員になり次第締め切ります。＊定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。＊未就学児はご遠慮ください。

当館学芸員によるスライドトーク「展覧会のツボ」

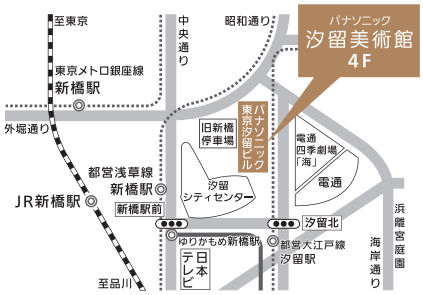
日　時｜10月29日（火）、11月9日（土）いずれも午後2時〜2時30分、先着50名、予約不要、聴講無料（ただし本展の観覧券（半券）が必要です）
会　場｜パナソニック東京汐留ビル5階ホール

同時開催

ルオー・ギャラリーにて、当館所蔵のルオーコレクションの中から作品を展示しております。併せてご覧ください。

土日祝は日時指定予約制です（平日は予約不要）。当日空きがあればご入館いただけます。混雑状況により入館方法が変更になる場合がございます。最新情報は当館ウェブサイトをご覧ください。
Timed-entry reservations are required for visit on weekends and holidays. Visitors who have not made a reservation may still be admitted if online bookings do not reach full capacity. For the latest reservation information, please visit our website.

次回予告　ル・コルビュジエ　諸芸術の綜合　1930－1965　2025年1月11日（土）〜 3月23日（日）

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階
お問い合わせ／ハローダイヤル 050-5541-8600
公式ウェブサイト／https://panasonic.co.jp/ew/museum/
交通のご案内／JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分
Panasonic Shiodome Museum of Art
4th Floor, Panasonic Tokyo Shiodome Bldg, 1-5-1 Higashi-Shimbashi, Minato-ku, Tokyo 105-8301
Access / • 8-minutes walk from JR Shimbashi Station • 6-minutes walk from Shimbashi Station of Tokyo Metro Ginza Line, Asakusa Line, and Yurikamome Line • 5-minutes walk from Oedo Line Shiodome Station

Panasonic Shiodome Museum of Art | ROUAULT GALLERY
パナソニック 汐留美術館